

## タンク基礎で採用され活躍する中層混合処理工法

### — W I L L 工 法 —



新設プラント建設工事のうち、 $\phi 13.0\text{m} \times 2$ 基と $\phi 15.6\text{m}$ の円形槽基礎下とポンプ置場基礎下の部分改良に、中層混合処理工法のWILL工法が採用されました。

当該工法は、揺動攪拌機能をもつ特殊な攪拌翼をバックホウ先端に取付け、スラリー状の改良材を吐出しながら、原位置土と強制的に上下左右に攪拌混合して、ばらつきの少ない安定した改良体を造成する工法です。

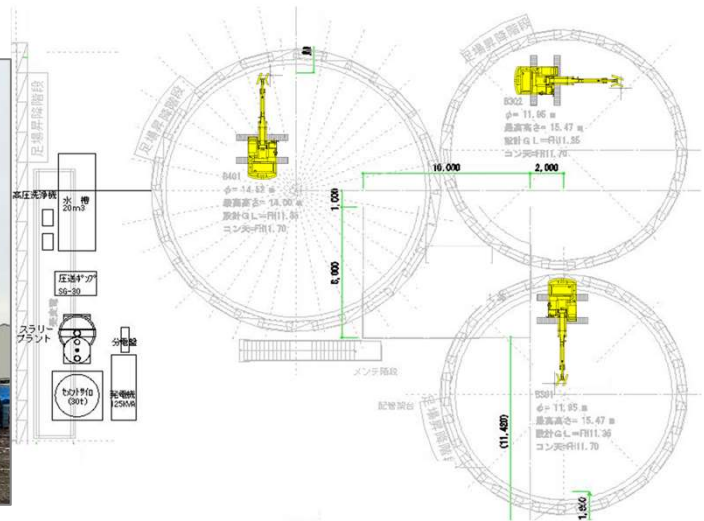
施 工 数 量	
改良材添加量	145～266 kg/m <sup>3</sup>
改 良 強 度	450～1,710 kN/m <sup>2</sup>
改 良 深 度	4.95～5.15 m
改 良 土 量	2,560 m <sup>3</sup>



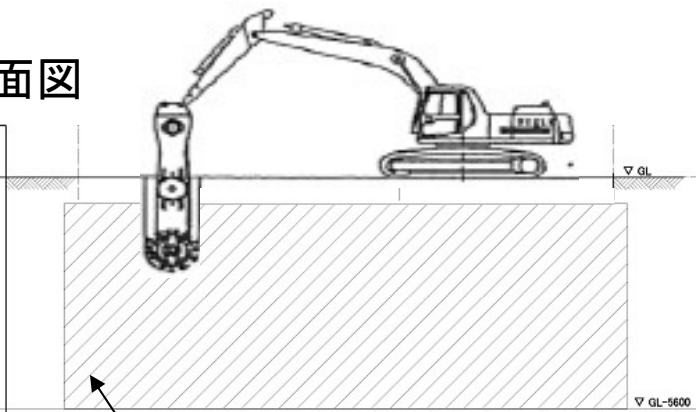
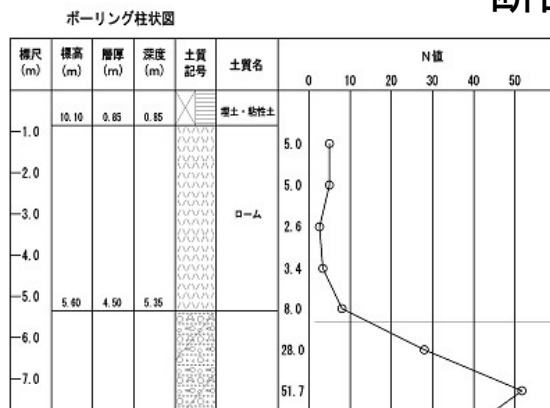
## WILL工法 スラリープラント



## 平面図



## 断面図



WILL工法(中層混合処理工法)

高い掘削性能と高い攪拌混合性能を有する  
リボンスクリュー型 攪拌翼

